

# 令和6年度 学校評価アンケートまとめ

## 結 果

### <学校生活>

児童86%と4ポイントほど減少しました。保護者の98%が明るく学校生活を送っていると回答しています。

### <授 業>

「すすんで学習している」と回答した児童は85%と昨年度と同じ割合です。保護者の「主体的に学習している」が86%と昨年度より11%上昇しています。

### <読 書>

「本を進んで読んでいる」と68%の児童が回答で、昨年より「本を読むのが好きですか」の74%より6ポイント減少しました。

### <家庭学習>

84%の児童が「宿題や自主学習に取り組んでいる」と回答。昨年度より3ポイント減少しています。保護者は7ポイント低下しています。

### <いじめ対策>

93%の児童が「友達と仲良くし、いじめや悪口など人のいやがることをしていない」と回答し、昨年から2ポイント減少しています。保護者も学校は「いじめのない学校づくりに努めている」が94%で6ポイント上昇しています。

### <体力向上>

「体力づくりに、自分からすすんで取り組んでいますか」と回答した児童は79%でした。(昨年度の児童は90%が「体育の授業にすすんで取り組んでいる」と回答)

保護者は体力の維持に関してそう感じるが、昨年より4ポイント増加の90%でした。

### <社会規範>

児童は、決まりを守って生活しているが91%で3ポイント低下しています。98%の保護者が「学校や社会のきまりを守って生活している」と回答しています。

### <安 全>

児童は、96%が安全に気を付けて生活していると回答しています。保護者の95%が学校は、不審者や事故の防止等に取り組み、安全を確保していると回答し、昨年度より3ポイント上昇しています。

### <教育相談>

児童の90%が自分の話を親や先生、友達に聞いてもらっていると回答しており、昨年度より1ポイント減少しています。保護者は93%が学校は子どもの悩みや保護者の相談に応じていると回答し、昨年度より1ポイント上昇しています。

### <保 健>

児童の82%が、「早寝、早起きをしたり、外から戻ってきたときには、手を洗ったりして、風邪をひかないように気をつけている」と回答しています。(昨年度、児童の96%が「手洗いや健康観察をきちんと行っている」と回答)

保護者の91%が「手洗いの励行などの保健指導や、「早寝・早起き・朝ごはん」などの生活習慣指導を通して、健康増進に努めている」と回答しています。(昨年度、保護者の89%が、「子どもへの手洗い・マスク着用の励行や健康観察等により、感染対策に努めている」と回答)

### <情報発信>

98%の保護者が学校は教育方針や子どもたちの様子をたよりやHP等を通して伝えていていると回答しており、昨年度より1ポイント上昇しました。

#### <地域連携>

保護者は、97%が「地域やPTAと協力して教育活動にあたっている」と回答しており、昨年度より3ポイント上昇しています。

#### <コミュニケーション>

児童は90%が人の話はきちんと聞いていると回答しています。(昨年度より、5ポイント減少)

### 分 析

#### <学校生活>

保護者の97%が「学校は一人一人を大切にした教育を行っている」と感じるとの回答から、名戸ヶ谷小学校が保護者からの信頼を得ながら教育活動を行っていることが伺えます。

しかし、「学校生活を楽しく過ごしている」と回答した児童の86%と昨年度より5ポイントほど低下していることから、教職員の指導の在り方（友人関係の見取り、学習指導、生徒指導等）を見直していくことが必須であると考えます。

#### <授 業>

児童が主体的に学ぶことができるように、教職員の研修を充実させていきます。「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指してきます。

またコミュニケーション能力の育成も重要であると考えます。学級指導において、話の聞き方、授業を受ける姿勢等について声をかけていくのはもちろんのこと、授業の中で、話し合う必然性を教師から投げかけるなど、発問の工夫についてもしていきたいと思います。

#### <読 書>

昨年度の「本を読むのが好きですか」という問いから、「本をすすんで読んでいる」という問いに変えました。意味合いが少し変わったことが減少した要因の一つになっているかもしれません。

また、ICTの活用を重点に置いた研修を行ってきました。読書や学校図書館も合わせて活用していく指導をする必要がある。

今後はICTだけの活用であったり、好きな本を読むだけの読書の時間にしたりするのではなく、調べ学習など学習の中で情報活用できるよう授業を組み立てたり、学校図書館指導員を活用した授業を行っていったりしていきます。

#### <家庭学習>

「宿題や自主学習に取り組んでいる」と回答した児童や保護者の割合が低下しました。宿題については、学年の実態を踏まえて内容や量を考えるとともに、学年内で学級差が出ないようにしていきたいと思います。

「自主学習で何をしたらよいかわからない」という御意見をいただきました。新年度、自主学習の課題を出す際には、学級担任より児童がわかるように説明した上で取り組んでいけるようにします。

#### <いじめ対策>

「友達と仲良くし、いじめや悪口などひとのいやがることをしていない」と回答した児童はほぼ横ばいでした。そのような中で、「いじめのない学校づくりに努めている」と

回答された保護者の割合が6ポイント増加しています。

半面、学校生活を楽しみ過ごしているとあまり思わないまたは思わない児童が9%いました。「悪口や人の嫌がることをせず友達と仲良くできていますか」の質問にあまりできていないと回答している5%の児童の存在とあわせると、潜在的に困り感を抱えている児童が複数いることが伺えます。

また自由記述欄の中にも、「いじめに関すること」や「同じ学年の友達や上の学年の人から嫌がることをされた」ということもありました。

そこで、日ごろから複数の教職員が相互に児童の表情や態度を察知するよう再度徹底して、児童が気持ちよく学校生活を送ることができるように支援していきます。

また、欠席・遅刻や早退等の様子にも目を向け、教職員がお互いに声をかけ合い、チームで対応することや、保護者の皆様との連絡等を密にとりながら対応に当たっていきたいと思います。

### <体力向上>

体力向上に関しては、質問項目を変更したことや部活動の廃止が各層に影響している可能性があります。学校生活の中で体を動かす時間が限られてきますので、体育の指導方法などを見直し、1時間の授業の中でしっかりと運動量の確保ができるようにしていきます。また、名戸ケ谷小学校にある広い校庭を活用した遊び方の工夫をしていきます。

### <社会規範>

91%の児童が「決まりを守って生活している」と回答している。しかし、自由記述欄において「旗振りをしていて挨拶ができない子がほとんどで『挨拶運動』の成果が出ていない」という御意見をいただいたり、旗振りをしている地域の方から直接「挨拶をする児童が少なかったり、挨拶の声が小さかったりする」という御意見をいただいております。校内のみではなく、校外においても活かすことができるような「挨拶運動」になるよう声をかけていきます。

また、アンケートにはありませんでしたが、地域の方から放課後の遊び方や自転車の乗り方や駐輪の仕方、スケートボード（キックボードなど）の乗り方についても御意見をいただきました。特に、「道路で自転車レースをやっていたり、坂道でスケートボード（キックボードなど）を下りてきたりして、運転している自動車にぶつかりそうになった」という御意見もいただきました。

再三再四、学校でも呼びかけており、今後も呼びかけていきますが、実情としてなかなか定着していません。御家庭でも、放課後の過ごし方について声をかけていただけると助かります。

### <安全>

「安全に気を付けて生活している」と回答した児童は、昨年度と同じような割合でした。また、「不審者や事故の防止等に取り組み、安全を確保している」と回答した保護者は昨年度よりも6ポイント増加しています。

自由記述欄には、学校の不審者対策についての御意見をいただきました。1年生に対しては、1学期に防犯教室、全学年対象に不審者対応避難訓練を、それぞれ柏警察署の方をお呼びして実施しました。また、連休前や長期休業前にも各学級で指導をしています。令和7年度も継続して実施していきます。

### <保健>

今年度、児童・保護者向けアンケート項目を変更し、感染症対策に関する問いから、保健指導や生活習慣指導についての問いに変えました。そのため、割合に変動が見られます。

感染症は依然として、流行する恐れがありますので、今後も継続して、感染症に関する情報を sigfy や保健だより等をとおして、御家庭と情報の共有をしていきます。

#### <情報発信>

多くの保護者の皆様が、「教育方針や子どもたちの様子をたよりやHP等を通して伝えている」と回答しています。今後も、できるだけ情報の発信をしていけるように努めて参ります。

自由記述欄において、「Google classroom における連絡帳の活用について」の御意見が複数ありました。こちらについては、Google classroom は児童のみが使用できるものであり、保護者の皆様のみで閲覧したり、書き込んだりすることはできないものとなっています。連絡ツールとしての sigfy の活用など、校内でより良い活用方法を再度検討していきたいと思います。

#### <地域連携>

P T A活動および地域連携等で97%の保護者の皆様が協力して教育活動にあたっている」と回答しています。P T A活動に関しては、P T A役員の皆様でより良い活動を目指してアンケートをとり、無理のないP T A活動を目指してくださっております。学校としても、気もちよく活動していただけるよう、P T A会員の皆様と手を取りながら、子どもたちの教育活動を進めて参りたいと思います。

令和7年度以降は、お手伝いアンケートを学校からその都度発信し、一緒に活動していただける方を募集していきたいと思います。

今後も御家庭や地域、学校との細やかな連絡・相談の積み重ねが、皆様の信頼をつくり、児童の安心した学校生活につながっていることを再認識いたしました。引き続き、基本的な生活習慣の育成や社会規範の向上を目指すとともに、児童にとって魅力ある授業づくりや支え合う人間関係づくりに取り組んでいきたいと思います。

学校教育目標の「自分で考え判断し 夢の実現に向けて たくましく生きる子の育成」を目指していきたいと思います。